

ただいま 工事現場から



No.7

令和3年11月8日

富士宮警察署(仮称)富士宮駅前交番地質調査業務委託

番外編

今回の現場はお休みです。

安全第一 安全第一 安全第一

～地質調査～

建物を建てる前に、その地盤がどの程度の重さに耐え、沈下に抵抗する力をもっているか調べる必要があるため、地質調査(ボーリング調査)を行います。

業務概要

- 業務名称 富士宮警察署(仮称)富士宮駅前交番地質調査業務委託
- 目的 富士宮警察署(仮称)富士宮駅前交番建築工事設計に向けた地層・地盤状況の把握を目的とする。
- 受注者 株式会社東日
- 工期 令和3年6月22日～令和3年8月23日
- 施工場所 富士宮市中央町



ボーリング調査の様子

今回は工事現場ではなく地質調査に密着!



地質調査の完了検査

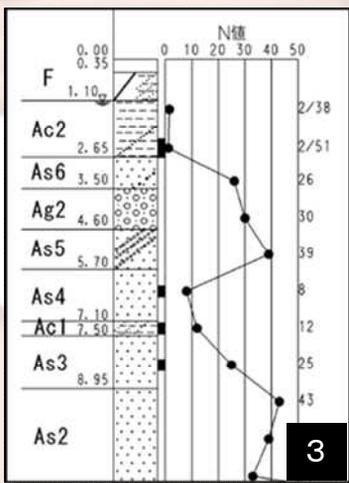
地質調査の流れ



① はじめに**標準貫入試験※**を行い、地盤の硬さ、軟らかさ、試料の採取、地盤の締め具合を調べます。所定の深さまで掘削するので、硬い地盤であれば打撃しても、貫入しにくく、軟らかい地盤であれば簡単に貫入します。



② サンプルを採取し、土粒子の密度、含水比、粒度、等を調べます。土粒子の密度が高ければ硬く、含水比が高ければ柔らかい地層だということが分かります。



③ サンプルの情報を元に地盤の状況を示した柱状図というものを作成します。**N値※**が大きいほどその地層は硬いということを表します。

※標準貫入試験とは

地盤を打撃して、地盤の強さを調べる試験です。方法は63.5kgのハンマー（おもり）を75cmの高さから自由落下させて、サンプラーを土中に30cm貫入させるのに要する打撃回数を測定する試験です。通常は土のサンプル採取と同時に Rowe 行われます。

※N値とは

サンプラーを土中に30cm貫入させるのに要する打撃回数です。

新規採用職員にインタビューしました！



～インタビュー～

Q:今はどんな仕事をしていますか？

A:依頼課の意見を聞いて、設計業者、工事業者と内容を調整したり、設計や工事のスケジュール管理をしています。

Q:仕事をしていて楽しいなと思うことは？

A:調整管理が主な業務なので、業者にスムーズに業務を行ってもらっていると実感できたときは特にうれしく思います。

Q:建築のどんなところが好きですか？

A:意匠、構造、電気、設備、設計者、施工者などいろいろな人が協力してつくるものだというところが好きです。

建築工事課

技師 青木 勇大

～質問募集～

「ただいま工事現場から」では、静岡県庁で働く建築職員への質問を募集しています。どんな仕事をしているの？どうしてその仕事を選んだの？など知りたいこと・聞いてみたいことを教えてください。今後の記事の参考にさせていただきます。
※質問への個別回答は控えさせていただきます。

◇質問方法

ふじのくに電子申請システム
(QRコードからアクセスできます)



◇募集期間

令和3年12月31日まで

静岡県 交通基盤部 建築管理局 建築企画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL :054-221-3374

編集・発行